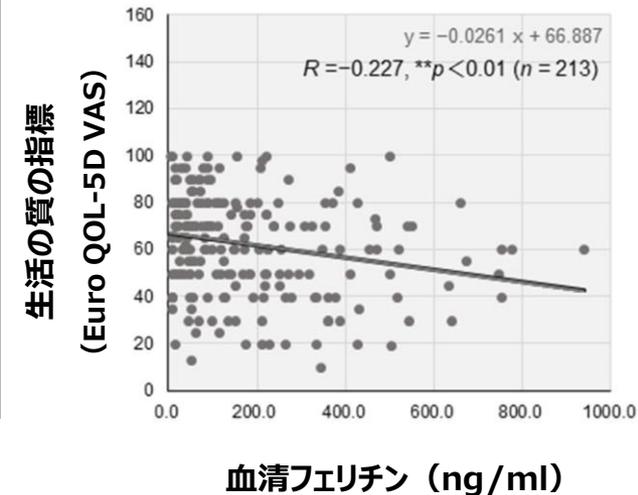
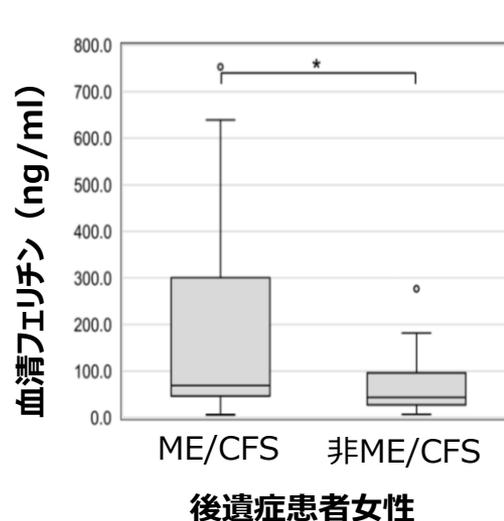


新型コロナウイルス感染症（COVID-19）罹患後に発症する 筋痛性脳脊髄炎/慢性疲労症候群（ME/CFS）の臨床的特徴

2021年2月から2022年5月までにコロナ・アフターケア外来を受診した患者さんのうち、
発症から6か月以上経過した方（234名）を対象として解析しました。

- ✓ 139名（59%）の後遺症患者に倦怠感があり、**50名（21%）がME/CFSの基準を満たした。**
- ✓ 倦怠感のない後遺症患者と比較して、**ME/CFSの基準を満たす患者において、血清フェリチン値が高値を呈した。**
- ✓ 血清フェリチンの上昇は、**倦怠感や生活の質の低下と有意に関連していた。**
- ✓ 男女で比較すると、**女性のME/CFS群において血清フェリチンが上昇していた。**



**COVID-19罹患後の患者さんでは、「血清フェリチン値」が、
倦怠感の持続・ME/CFSの合併を予測する臨床指標になる可能性が示された。**